

経済・雇用部会における議論

○国への報告書及び提案書

- ・ 原案どおり承認

○主な意見

（議題１：医療・介護・健康関連産業の振興と人材確保・育成について）

- ・ 医療・介護・健康関連産業分野の新たな機器・サービスの開発において、全体を通じて支援可能なコーディネーターの役割は重要であり、指定都市間の連携を図りながら、今後の育成に取り組んでいく必要がある。
- ・ 部会都市間の連携による販路開拓の試行については、全指定都市にも拡大することで、より効果的なものになると考えられ、今後も、引き続き、指定都市市長会として取り組んでいく必要がある。
- ・ 指定都市間連携による販路開拓については、持続可能となるよう、開発企業と販路先とをつなぐ交流会や見本市などにより、指定都市間が連携して取り組んでいくことが必要である。
- ・ 医療・介護・健康関連産業に対する支援は、地方が各論展開していく上で指定都市の役割は大変重要であり、現場の第一線に立って、企業支援をしていくスタッフを育てていくことが必要である。

（議題２：指定都市への公共職業安定所（ハローワーク）業務等の移管について）

- ・ 一体的実施は高い成果を挙げており、福祉サービスを直接提供している指定都市が実施する方向で進んで行くべきである。今後も経験値を増やしながら、権限移譲に向けた取り組みを進める必要がある。
- ・ 一体的実施の対象者を段階的に拡充するとともに、職業訓練施設を持っている強みを生かしたい。
- ・ 国と指定都市が信頼関係を維持しながら、連携して就労支援に取り組んでいくとともに、より効果的な支援ができるよう、両方で協議する場を設置していく必要がある。

○国への提案活動について

- ・ 今後は、本日承認された国への報告書及び提案書により、部会長市である広島市と指定都市市長会事務局にて、関係府省等に提案活動を行っていく。